

オンサイトPPA（第三者所有型）を導入 した、再エネ100宣言 RE Action参加団体 から導入事例紹介

2025年11月12日

株式会社艶金

代表取締役社長 墨 勇志



PPAによるソーラーカーポートの導入

会社概要

社名 株式会社艶金

住所 岐阜県大垣市十六町字高畑1050

売上 17億75百万 (2024年度実績)

業務内容 洋服生地染色整理加工、及び生地販売、縫製品販売
産業用ロボットカバー製造販売



PPAによるソーラーカーポートの導入

2021年9月に中小企業版SBT取得

経緯 ファッション産業は環境負荷が高い。
洋服製造のサプライチェーンのなかで染色工程は特に
エネルギー(水・エネルギー・電気)多消費が特徴

(事例) SBT取得済みのアパレル企業S社のデータ(2024年度)
2030年度までにScope1・2のGHG排出量を2019年度比52%削減
2030年度までにScope3 (カテゴリ1・3・4・12) のGHG排出量を
2019年度比30%削減

スコープ1 872 t-CO2

スコープ2 1,329

スコープ3 36,984

仕入れる原材料(衣服・衣服生地等)の脱炭素化が重要

PPAによるソーラーカーポートの導入



報道発表資料

2025年07月18

日

地球環境

「バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業」への参加企業・支援機関及び業界団体等の決定について

【参考資料】決定したグループの応募申請者・構成企業一覧

「バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業」について、厳正な審査の結果により合計6グループが決定しました。

1. モデル事業への参加企業・団体等

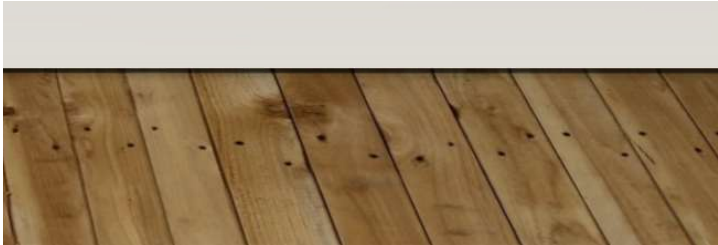
令和7年5月13日（火）から同年6月16日まで、バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業の内容及び、他企業・団体への波及性等を総合的に評価し、3グループ、（2）業界団体・企業・団体等として決定しました（下記は応募企業・団体は別紙の通り）。

（1）個別 VC 支援

申請者	構成企業（順不同）
株式会社アクタス	株式会社三栄コーポレーション サンコロナ小田株式会社 株式会社 HIDAKAGU
SMC 株式会社	ムサシ電子株式会社 精和産業株式会社 TPR サンライト株式会社 三和トソー株式会社
三起商行株式会社	貴志川工業株式会社 株式会社艶金 釜屋染工株式会社

（1）個別VC支援

- ・株式会社アクタス（東京都新宿区）
- ・SMC株式会社（東京都中央区）
- ・三起商行株式会社（大阪府八尾市）



PPAによるソーラーカーポートの導入

株式会社艶金として2021年9月に中小企業版SBT取得

現状 電気使用量が多い。
(2024年度実績 4,211 千kWh)

電気の脱炭素化取組

契約上の電気使用量の10%を再生可能エネルギー電力契約
(これ以上のコストアップは経営上現実的でない)

オンサイトPPA導入(2023年1月より)
(工場全使用量の3%程度ではあるが)

PPAによるソーラーカーポートの導入

オンサイトPPA挑戦して良かったこと・大変だったこと

- 初期投資が不要
- 築50年超のスレート屋根には太陽光パネル不可だった。
ソーラーカーポートへ変更となった。
社員駐車場が屋根付きになった。
- 20年間の発電使用分の支払いが極端に高額でなくスタート出来た。
支払額は20年間固定であるのに対して、通常の電気料金は今後も値上がりが予想されるので、却って割安になるのではないか。
- ソーラーカーポート設置申請時に、現状の構築物の測量指示があり、多額の費用がかかってしまった。



PPAによるソーラーカーポートの導入

オンサイトPPA第2期設置検討時に実質ストップしてしまった

- 土日のソーラー発電分が利用しきれない場合が多く、結果的に第2期分は、自家消費率が大きく低下してしまい、負担金額が大幅にアップする予想となってしまった。
- 当社は中部電力管内であるが、契約は関西電力である。

法律の壁か、電力会社が別のやりにくさなのか、第2期の提案がトーンダウンしてしまっている。

完全に自前で太陽光発電を設置する資金繰りも、優先順位がどうしても本業設備優先になってしまう。

製造業で、電気使用量の多い企業は同じような悩みが多いはず。そもそも様々なコストアップで経営の余裕が一段とない状況であり、電力の再エネ化に取り組む意欲・余裕が減っているのではないか？



PPAによるソーラーカーポートの導入

オンサイトPPA第2期設置検討時に実質ストップしてしまった

- ・ オンサイトPPAにて補助金をもらって負担の少ない価格でのスタートとなったが、オンサイトPPA第2期を検討する際には同じ企業が再度補助金をもらうことは出来ないらしい。
- ・ 電気使用量の多い製造系中小企業が、電力の再エネ化を進める理由は川下会社からの脱炭素圧力
企業のブランド力としての脱炭素・電力の再エネ化（使命感）
などが中心であり、コストダウンでなくコストアップ要因になる場合がほとんどだと思う。

国として、脱炭素を進めるなら、電力の再エネ化に取り組もうとしている中小企業が、踏み出しやすい制度を考えてくれないと、ますます海外移転が進むと思う。



PPAによるソーラーカーポートの導入

（環境省HP）「サステナブルファッション」

ファッション産業は、製造にかかるエネルギー使用量やライフサイクルの短さなどから環境負荷が非常に大きい産業と指摘されており、国際的な課題となっています。
アパレル業界の実態は大量生産大量消費大量廃棄



PPAによるソーラーカーポートの導入



PPAによるソーラーカーポートの導入

©一般社団法人再エネ100宣言 RE Action協議会



作成日：2025年9月9日

脱炭素を経営ビジョンとし、電力の再エネ化を進める。

株式会社艶金

岐阜県大垣市

業種：繊維染色加工及びロボットカバー製造販売

URL：<https://www.tsuyakin.co.jp/>

Tsuyakin®



ソーラーカーポート



発電状況画面

- 洋服生地染色整理加工業及び産業用ロボットカバー製造販売を生業としています。
- 2018年の環境省の脱炭素補助事業をきっかけに、脱炭素経営を積極的に進めました。2021年に日本国内で染色会社として初めて、二酸化炭素排出削減目標の認定制度であるSBTを取得しました。
- スcope 1の二酸化炭素直接排出は、バイオマスボイラー導入により少なく、電気使用によるScope 2の削減が重要との認識を持ちました。
- そのため、再エネ100宣言RE Actionに参加し、電力の再エネ化に取り組むことにしました。
- 2021年から電気使用量の10%を再生可能エネルギー電力に切り替え、2023年にソーラーカーポートを設置し、工場内で発電電力の使用を開始しました。
- 省電力型染色機の導入、照明のLED化、生産性アップなどで、総量・原単位での電気使用量の削減に取り組んでいます。2024年度は前年比で、総使用量を7.8%削減しました。
- 一方で、太陽光発電の増設は様々な障害により追加導入は進まず、再エネ化率のアップにはつながりませんでした。